

【草花の部屋】

キンギョソウ(オオバコ科キンギョソウ属 *Antirrhinum majus*)

和名；キンギョソウ(金魚草) **別名**；スナップドラゴン **英名**；snapdragon

シソ目 多年草

原産地；地中海沿岸

花言葉；おしゃべり、でしゃばり

花の色；赤、桃、白、橙、黄、複色



←写真－1 キンギョソウ

撮影日：2023年6月20日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：Mさん

↓ 写真－2 キンギョソウの花

撮影日：2023年6月20日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：Mさん



↓ 写真－3 キンギョソウの花

撮影日：2023年6月20日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：Mさん



大和郡山市郊外の家庭菜園の一角に咲いていました。見かけた時は、上から見下ろす目線だったため、キンギョソウとは気付きませんでした。菜園の管理者

から聞いて、しゃがみ込んで見直すと、たしかにキンギョソウでした。写真はいずれも小型種です。

キンギョソウは鮮明な色彩で色幅のバラエティに富み、春めいたにぎやかさを感じさせる花です。甘い香りを漂わせ、金魚を連想させる愛嬌のあるふっくらとした花形が特徴です。

品種が多く、草丈 1m 以上の高性種、こんもり茂る小型種、そして中間のタイプがあり、切り花や花壇、鉢植えと幅広く利用されています。一重咲き、八重咲きのほか、花が杯状に大きく開くペンステモン咲きの品種もあり、まったく違った印象を受けます。最近ではダークカラーの葉の品種もあり、カラーリーフとして楽しめる品種も登場しているそうです。後方に配置すれば奥行き感のある花壇を演出できる中高性種、草丈 20cm ほどで寄せ植えや花壇の手前に向く小型種など用途に応じて使い分けができます。

茎先に穂状または総状花序を出し、密に花をつけます。花は長さ 4～6cm で花冠は大きく、下部が筒状になり、上下に 2 唇弁をもちます。金魚に似た形の花をつけるため、この名があるそうです。この仲間は花の口が閉じているため、こじ開けて花筒内に入る力をもつハナバチでないと吸蜜できないそうです。

葉は長楕円状披針形で互生し、全縁です。

<ちょっと一言>

＊本来は多年草の植物ですが、高温多湿の蒸れに弱いことから、園芸的には一年草として扱われることがほとんどだそうです。

＊キンギョソウ(金魚草)は旧分類ではゴマノハグサ科でしたが、オオバコ科に分類されるようになったそうです。